



ばらの未来へ

MY
ROSES
マイローズ®

住友化学園芸50周年記念花
「マイローズ」誕生▶
(2019 Japan Takunori Kimura)



家庭園芸の未来を担う
次世代のばら。
[赤・四季咲き・木立]
品種の説明動画が
ごらんになれます▶



病気防除のポイントは殺菌剤の
ローテーション散布!

パッケージの
種類マークを
ご確認ください▶

ばら専用マイローズ。
薬品・肥料・活力剤・土

ばら管理の情報が
たくさん▶



ペニカXファイン。スプレー
殺虫殺菌剤



マイローズ。殺菌スプレー
殺菌剤



オルトラン。DX粒剤
殺虫剤



マイローズ。ばらの肥料
肥料



マイローズ。ばらの培養土
用土

植える 育てる 楽しむ セレクションラインナップ



⚠ 使用に際しては必ず商品の説明をよく読んで、記載内容に従ってお使いください。(マイローズは住友化学園芸(株)の登録商標)

www.sc-engei.co.jp 住友化学園芸株式会社 〒103-0016
東京都中央区日本橋小網町1-8

●商品についてのお問い合わせ先 TEL03-3663-1128 (9:30~12:00/13:00~16:30/土・日・祝日を除く)

バラの未来へ 私にやさしいバラへ

「バラは育てるのが難しい植物」というイメージが変わる時代がやってきました。高温多湿の日本で、美しく強いバラの育種にこだわる木村卓功さんに、これから始まる「バラ新時代」の主力、「とても丈夫で、育てる人にやさしいバラ」とのつき合い方を尋ねてみました。 監修：木村卓功

「バラつてきれいで香りもよいけれど、虫も病気も心配。育てるのは難しいんですよ?」「家で育てるのは無理そう」と、各地のバラ園でよく尋ねられます。実際、今まで人気のあったバラたちは、そんな品種ばかりでした。ところがここ数年、バラの耐病性は驚くほど向上し、樹木や草花と同じような手入れだけで育つバラがではじめています。まったくの初心者でも、バラを気軽に手軽に育てられる時代が、始まろうとしています。とはいえ、ときどき害虫が発生するの、樹木や草花などと一緒。すべての葉を常にきれいに維持しないなら、薬剤を上手に利用するのが効果的です。今は家庭園芸用の薬剤も、効果や作業性が大きく進化し、上手に活用すると、豊かで手軽なバラとの生活を楽しめると思います。(木村さん)。

マイローズシリーズとは?



バラを育て、守り、そして楽しむ「マイローズ」シリーズは13アイテム。あなたとバラにやさしく寄り添ってくれます。後ろから反時計回りに、「ばらの培養土」「ばらの肥料」1.6kg、700g、「ばらの液体肥料」「ばらの活力剤」「ペニカX ファインエアゾール」「ペニカR乳剤」「オルトランDX粒剤」「ペニカXファインスプレー」「マイローズ殺菌スプレー」「STサブロー乳剤」「GFベンレート水和剤」「ばらを長く楽しむ切花液」。

きむら・たのり 日本の高温多湿な環境下でも育てやすい、四季咲き性のバラにこだわった育種を行うローズクリエイター。多品種のバラ苗を販売する専門店とネットショップを経営。代表品種は「シェエラザード」「オデュッセイア」など。

*「趣味の園芸」2019年5月号に掲載したタイアップ広告を再編集したものです。

構成：ウチダトモコ 撮影協力：バラの家



ここぞ!のときに

バラを パワーアップ

私たちは疲れたときにサプリメントや栄養ドリンクを利用しますが、バラも同じ。「マイローズばらの活力剤」を上手に利用してください。丈夫で育てやすいバラも、暑い夏や寒い冬を迎える前に活力剤を与えれば、よりスムーズに厳しい季節を乗り越えられます。また、「バラに元気がない」「表情がイマイチだな」と気づいたときにもどうぞ。植え替え時の水やりの水に活力剤をブレンドすれば、植え替えのダメージをスピーディーに回復させてくれます。



基本の使い方
「ばらの活力剤」の100倍希釈液を、水やりと同じように株元に与えます。



スペシャルな使い方
200倍希釈液を葉にスプレー。直接浸透するので、葉色が悪いときなどにおすすめ。



季節に合わせて

バラを 基本サポート

四季咲き性が強いバラは、真夏にいったん控えめになるものの、秋から冬にかけても途切れなく咲き続けます。だからこそ「いつ植え替えた方がいいの?」と疑問が生じることも。答えは一般的なバラと同じ。晩秋から早春の間に植え替えましょう。葉が落ちていなくても大丈夫。植え替え後のバラの生育をしっかり支える「マイローズばらの培養土」と「マイローズばらの肥料」を準備してトライ。新しい根が伸びるのに伴ってバラは新しい枝をグンと伸ばし、その枝に花を咲かせます。

1 一回り大きな鉢を用意し、「ばらの培養土」に適量の「ばらの肥料」を混ぜておく。

2 鉢から抜いたバラの根鉢の土をこの程度落としてから、新しい用土で植え替える。



バラも私も、
もっと近くに寄り添って。



パッケージの●●●は、殺菌剤の作用性ごとに分けた成分グループのマーク。

病気防除のポイントは殺菌剤の
ローテーション散布!
パッケージの種類マークをご確認ください



- (青) アニリノピリミジン系：病原菌がアミノ酸やタンパク質を合成するのをストップさせます。
- (緑) ペンゾイミダゾール系：病原菌が細胞分裂するのをストップさせ、増殖を食い止めます。
- (ピンク) EBI剤：病原菌が細胞膜をつくるのに必要な成分の合成を阻害します。

こだわり派には

ローテーションで もっとやさしく

前のページで、バラを病気からガードする殺菌剤として銀のスプレー、殺虫殺菌剤では金のスプレーを紹介しましたが、「マイローズシリーズ」には、ほかにも菌に対する作用が違う殺菌剤がラインナップされています。その効果は、作用性の違いから、3グループに分けることができます。同じグループの薬剤を続けて散布するより、グループ違いをローテーション使用することにより、耐性菌が現れにくく、殺菌効果が一段とアップ。ひと手間かけるローテーション散布により、バラにもっとやさしくなれるというわけです。



きっちり派には 銀のスプレー



朝一番に窓を開けたら、バラに会いに行くのがとっても楽しみ。そんな方は銀のスプレーこと「マイローズ殺菌スプレー」を携えて、ぐるっと庭やベランダをひと回りしてみましょう。今朝のバラの表情はいかがですか? 美しいバラを健やかに保つために「マイローズ殺菌スプレー」をシュッと散布しておく、うどんこ病、黒星病などバラに発生しやすい病気を防げます。また、すでに発生している病気を治療する効果もあり。葉裏の病原菌にも、逆さスプレーが可能。うえ、切り替えジェットノズルはアーチなどの高い箇所にも薬剤が届くので、手が届かない高所の病原菌もしっかり対策。常に元気な葉を保つには、病気対策の感度アップを心がけましょう。



見えない場所でも

土の上に パラパラ

アブラムシやハダニ、うどんこ病など、ときどきバラに発生する病害虫は観賞のときに目につくのでササッと対処すればOK。でもバラの大敵、コガネムシの幼虫は土の中に潜むので、チェックがちょっと難しいのです。そこで出番となるのが「オルトランDX粒剤」。土に浸透した殺虫成分が、鉢土の中に潜んで根を食害するコガネムシの幼虫を退治します。また、殺虫成分は根から吸い上げ茎葉へも浸透移行するので、アブラムシやクロケシツブチョッキリ(バラゾウムシ)やハバチも防除します。



適量を鉢土の表面にパラパラ。作業は、たったそれだけ。



基本はやっぱり 金のスプレー



咲き誇るバラをじっくり観賞していたら、見つけちゃうことがありますよね、害虫。バラが次々に咲いてくるこの時期は、多くの生き物にとって過ごしやすい時期。だからアブラムシなどの害虫も発生しがちです。バラの観賞中にふと害虫が目に残ったら、金のスプレー「ベニカXファインスプレー」をシュシュッと散布。素早く効くうえに、葉裏まで浸透する成分が約1か月間、アブラムシの発生を防除してくれます。また、殺虫殺菌剤なので、うどんこ病、黒星病などバラに発生しやすい病気も予防します。



観賞と観察は同時プレイが可能。気づいたらシュッして、害虫とバイバイ。



いつも一緒に 長く飾るための ケア

育てたバラを切って室内に飾るのは、私たちみんなの憧れ。繰り返して次々と花を咲かせる品種なら、惜しみなくバラの切り花を楽しむことができます。切ったバラを生けるなら、50倍に希釈した「マイローズばらを長く楽しむ切花液」を利用してみましょう。切り花にした開き始めの花を、ふんわりたっぷり開かせてくれます。また、吸水を妨げるバクテリアやカビの繁殖を防ぐので、水の濁りが一目瞭然となるガラス花器には、特にうれしいアイテム。臭いも防ぎ、キッチンやベッドルームにバラを飾るときにもおすすめです。



室内にもたっぷりバラを飾りたい。これもバラを育ててこそ味わえるぜいたく。

これからのバラは、
あなたの気持ちを優先で。



www.sc-engei.co.jp
お問い合わせ TEL.03-3663-1128 (イイニワ)

マイローズシリーズについて詳しくは▶
⚠ 使用に際しては必ず商品の説明をよく読んで、
記載内容に従ってお使いください。

